

株1グランプリ

毎月5人のプロたちが3銘柄を厳選

【競技ルール】1人3銘柄を選択。時価総額が100億円以上の銘柄のみ。今月は2月6日の始値から計測開始。以降、3月3日までのザラ場を含む高値の3銘柄合計のパフォーマンスを競う。ただし、当初の3銘柄については、1度だけ変更が可能。その際、除外した銘柄のそれまでのパフォーマンスはカウントされない。優勝賞金は3万円。

【岡山憲史氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	株価(2月6日始値)	高値(2月16日まで)	騰落率
キャンパス	4575	1680円	2801円	66.7%
BEENOS	3328	2087円	2547円	22.0%
メディシノバ・インク	4875	312円(13日)	326円	4.5%

※キャンパスがストップ高でトップを死守

【若林史江氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	株価(2月6日始値)	高値(2月16日まで)	騰落率
フリー	4478	3600円	3980円	10.6%
クリアル	2998	2620円	3170円	21.0%
ゲームカード・ジョイコポ	6249	2160円	3360円	55.6%

※ゲームカード・ジョイコポが好決算で上昇

【植草まさし氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	株価(2月6日始値)	高値(2月16日まで)	騰落率
ラオックスホールディングス	8202	230円	267円	16.1%
ピリソングシステム	3623	1584円	1592円	0.5%
戸田工業	4100	2561円	2639円	3.0%

※インバウンド関連のラオックスに期待

【久保田剛志氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	株価(2月6日始値)	高値(2月16日まで)	騰落率
マネックスグループ	8698	515円	527円	2.3%
eBASE	3835	689円	690円	0.1%
ELEMENTS	5246	1044円	1188円	13.8%
アースインフィニティ	7692	-	-	-

※思惑系銘柄のアースインフィニティ

【山崎敦氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	株価(2月6日始値)	高値(2月16日まで)	騰落率
ベネフィット・ワン	2412	2318円	2343円	1.1%
アカツキ	3932	2334円	2383円	2.1%
久光製薬	4530	3955円	4045円	2.3%
リクルートホールディングス	6098	-	-	-

※リクルートHDのリバウンドを狙う

キャンパスの魅力は大きく変化

型コロナ後遺症) 対象のフェーズ。臨床治験でカナダ保健省からの開始承認を受けた。

競う。ただし、当初の3銘柄については、1度だけ変更が可能。その際、除外した銘柄のそれまでのパフォーマンスはカウントされない。優勝賞金は3万円。

BEENOSは好決算後の高値を更新。過熱感もなく上昇トレンドが続きそうだ。メディシノバ・インクは、MN1166(イブジラスト)のLonger-COVID(新型コロナウイルス後遺症) 対象のフェーズ。臨床治験でカナダ保健省からの開始承認を受けた。

好決算で2日連続ストップ高!

フリーも決算通過だが、上期最終が赤字拡大で着地。大きく売られたが、こちらも値を戻している。パフォーマンス的にも10%超上昇しているため、新規銘柄で勝負を掛けるか悩むところ。今週は値持ちの良さを様子見とする。

ゲームカード・ジョイコポは当初の計画を上回る増益見通しが好感され、2日連続ストップ高。いったんは利益確定売りに押される展開だが、なおも高値圏で推移中。売り一巡後に再度の高値圏を期待したい。

クリアルも決算通過。2ヶタ増収増益だが、いったん材料出尽くしで大きく売られる場面も。だが、しっかりと値を戻し高値を取りに行く展開。フリーも決算通過だが、上期最終が赤字拡大で着地。大きく売られたが、こちらも値を戻している。パフォーマンス的にも10%超上昇しているため、新規銘柄で勝負を掛けるか悩むところ。今週は値持ちの良さを様子見とする。

動意づいたラオックスHD

注目銘柄のラオックスHDがさっそく動きだしてきた。株価が200円台と低位なので大化けが期待できる。ピリソングシステムと併せて、戸田工業にも追い風だ。

一方、政府観光局が発表した1月の訪日外国人は約150万人と昨年12月からの1カ月で12万人増えた。ただ、コロナ前と比べると44%も少ない。しかも為替が再び円安方向に動いてきた。「安い日本」への評判が世界中に広がることは決して手放しで喜べないが、外国人が日本で使うお金が月を追って増えていくのは確かだろう。

ELEMENTSは、利益確定売りからの調整が収まってきたところ。再度の高値圏に向けた動きになってほしい。今週は、値動きのさえないeBASEをアースインフィニティに変えたい。株価は2月上旬からネット投資家の思惑買いを集め、強烈に上昇している。この流れに素直に乗る可能性もある。来週は銘柄変更の可能性も。

アースインフィニティに飛び乗り

久光製薬は4000円の壁が高い。月内で突破できない場合は、チャートの周期的に考えてもいったん下げた後の上昇という形になるため、4000円超えには6カ月ほどかかる可能性がある。来週は銘柄変更の可能性も。

アカツキからリクルートホールディングスに銘柄を変更。16日時点で3日連続の大きな下げはあったが、4000円を下げ止まったこと、半年以上4000円を底にしてチャートが探み合っていることから上昇余力は大きいと判断する。ベネフィット・ワンも大きな下げを迎えたが、週足ではギリギリ許容範囲。2200円から反転すると予想しつつ、差し替えも検討したい。

上昇余力大、リクルートHD

リクルートHDのリバウンドを狙う

日経平均が底堅い動きを続ける中、株プロたちの銘柄からストップ高銘柄が続出してきた。トップを走る岡山憲史氏のパフォーマンスは、わずか2週間で2倍高を達成しようとしている。今週はどこまで成績を上積みするのか、また大逆転はあるのか。引き続き、要注目だ。(月曜掲載)

株プロと読者賞金3万円獲得するのは誰だ

チャレンジャー募集

希望者は、はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、株式投資歴を明記の上、〒100-8160(住所不要)夕刊フジ編集部「株-1GP」係まで。

第1位

マーケットバンク

岡山憲史氏

93.2%

おかやま・けんじ マーケットバンク代表。プロの運用担当。志ははじめて1万人を超え、加した日本初の資産運用コングラテーションで優勝。

第2位

株式会社アドバイザー

若林史江氏

87.2%

わかばやし・ふみえ 株式投資歴は20年以上。兜町人脈は広く情報収集力に定評がある。個人投資家としてテレビなどメディアにも多数出演している。

第3位

株式評論家

植草まさし氏

19.6%

うえさ・まさし 外資系金融機関を経て独立。政官財の各方面と幅広いパイ役として活動。連載多数。著名経営者のゴーストライターも。

第4位

本紙読者

久保田剛志氏

16.2%

くぼた・たけし 証券家。日本紙を讀むこと、投資歴は長い。が、持ち前の勝負勘で連勝中。過去には月間優勝の経験も。

第5位

マネーライター

山崎敦氏

5.5%

やまざきあつし 約10年間マネーライターとして投資家の手法を取材。自身もテクニカル目線のトレードを開始。トレンドに乗った短期売買が得意。